



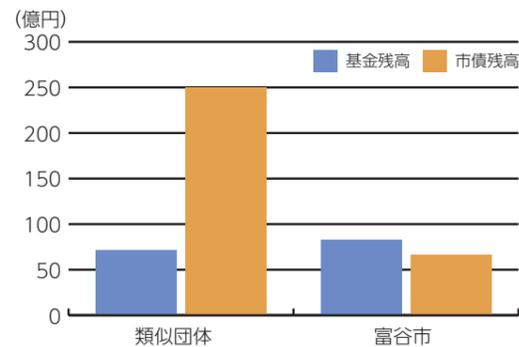
市の財政状況について — 市の基金（貯金）と市債（借金）

基金（貯金）および市債（借金）の残高は、令和2年度末で、基金が約73億1,802万円、市債が約62億3,822万円となりました。

市民1人当たりで換算すると、約14万円の貯金、約11万9,000円の借金となり、類似団体平均と比べると、貯金は同水準である一方で、借金は類似団体が約35万2,000円に対し、富谷市は約11万9,000円と大幅に低く、健全財政を維持しています。

なお、基金は、財政調整基金からの所要額を取り崩していますが、安定的に推移しており、今後も計画的な運用に努めてまいります。

類似団体との基金と市債残高の比較(令和2年度決算)



※類似団体については、令和3年8月公表数値となっています。

充当事業	借入額
道路整備事業債	3億2,810万円
河川整備事業債	2,000万円
学校教育施設等整備事業債	2,300万円
臨時財政対策債	7億4,000万円

令和4年度市債借入見込額の状況

道路整備事業債は市道の側溝整備や舗装修繕事業などに充てるため、借り入れる予定です。

また、臨時財政対策債（普通交付税削減の補てん）の借入を予定していますが、財政運営により発行額を抑制することもあります。

令和4年度 主な基金の取り崩し見込額の状況

基金名	取崩額・充当額	令和4年度の充当事業
財政調整基金	3億7,820万円	-
長寿社会福祉基金	371万円	社会福祉協議会補助事業、保健福祉総合支援センター運営事業
とみやスイーツ基金	150万円	とみやスイーツ活性化事業
ユーマイタウン施設整備基金	1億4,053万円	(仮称) やすらぎパークとみや整備事業

予算が決定するまでの主な流れ

予算編成は市長が予算案を作成し、年度開始前に議会の議決を経ることになっています。市が行う事業の効率性が求められるため、各部各課における段階的な作業・精査を経て、予算案を編成します。

令和3年	
9月上旬	予算編成方針調整期間 国政動向、経済情勢、市政課題を把握し、歳入(収入)額を見込み、必要な情報を収集
9月下旬	令和4年度予算編成方針決定・発表
10月中旬	予算見積書作成 各部各課において見積書を作成
11月上旬	市長へ各部各課の予算要求内容を説明
12月中旬	第1次査定(企画部長・財政課長査定)
12月下旬	第2次査定(副市長査定) 財政課長から副市長に第1次査定結果の提示

令和4年	
1月中旬	第3次査定(市長査定) ・市長判断を要する事業や政策的事業について、ヒアリング内容の説明 ・基金の運用や市債残高等の総合的検討 ・令和4年度当初予算案確定(予算書印刷) ・最終査定結果を各部課長へ当初予算案として通知
2月下旬	議案審議 予算書配布 予算案審議のため、予算審査特別委員会の設置
3月中旬	予算案の議決
4月	新年度予算執行開始

令和4年度 市の予算と事業

令和4年度の予算概要と主要事業、市の財政状況についてお知らせします。皆さんに納めていただいた税金などが、どのように使われ、まちづくりがどのように進められているか、各種会計の予算状況に沿ってお知らせします。

問 財政課 ☎022-358-0619

目次

- P 2… 令和4年度一般会計予算の中身を見よう
- P 6… 令和4年度に実施する市の主な事業
- P 12… 市の財政状況について

富谷市が進めるまちづくり「富谷市総合計画 基本構想 2016～2025」

住みたくなるまち日本一

～100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～

4つの基本方針の推進で目指す将来像を実現していきます

基本方針-1
暮らしを自慢できるまち!

基本方針-2
教育と子育て環境を誇るまち!

基本方針-3
元気と温かい心で支えるまち!

基本方針-4
市民の思いを協働でつくるまち!

6つの基本理念から4つのまちづくり基本方針を推進していきます



令和4年度 一般会計予算の中身を見てみよう！

どのような事業にどれくらいのお金が使われるのかな？

そもそも、予算って何？

1年（4月から翌年3月）に市へどのくらいお金が入ってくるのか（収入）、また行政サービスをどのように行うか（支出）を決めたものです。予算は市議会の審議と議決によって成立します。

一度決めた予算は、変えられないの？

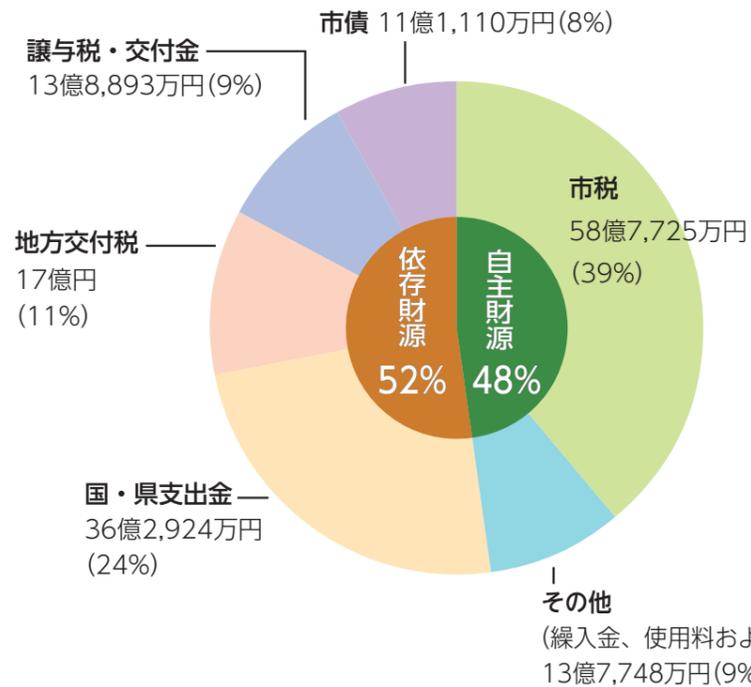
変えられます。国の制度改正や災害など不測の事態が起こり、予算の支出額や収入額を変更しなければならない場合に、市議会の審議と議決によって予算の補正を行います。

令和4年度 一般会計当初予算

令和4年度当初予算は、「住みたくなるまち日本一」の着実な実現に向け、限られた財源を効率的かつ効果的に活用できるよう予算編成を行いました。2月18日開会の令和4年第1回富谷市議会定例会に上程され、予算審査特別委員会（3月4日～9日）の集中審議を経て、3月11日に原案可決され成立しました。

150億8,400万円 (令和3年度：144億800万円)

歳入(収入) このお金はどこからやってくるの？



- 市税**：皆さんが、市に納めた税金（市民税、固定資産税、軽自動車税など）です。
- 国・県支出金**：国や県が、使い道を決めて交付するお金です。
- 地方交付税**：全国どこでも同じ行政サービスが受けられるよう、国から配分されるお金です。
- 市債**：市が銀行等から借り入れるお金です。

自主財源 48%

72億5,473万円

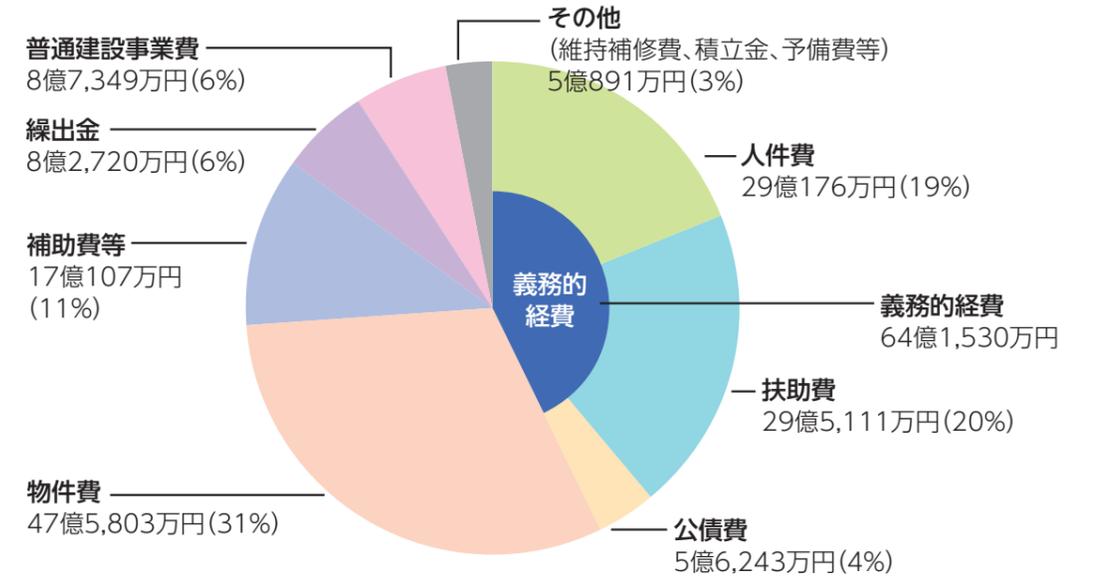
市税や使用料など、市が国に頼らず、自主的に調達できるお金を自主財源といいます。この財源が多いと市の予算にゆとりが生じるため、歳入に占める割合ができるだけ高いことが望ましいとされています。

依存財源 52%

78億2,927万円

地方交付税や国・県支出金など、国・県の意思により交付されるお金を依存財源といいます。また、市債も該当します。

歳出(支出) このお金は何に使われるの？



- 義務的経費**：人件費、扶助費、公債費の3つからなり、支出することが義務づけられている経費です。
- 物件費**：委託料、使用料、備品購入費、手数料、需用費、旅費、交際費などの経費です。
- 補助費等**：各種団体に対する助成金や報償金、保険料などの経費です。
- 繰出金**：特別会計等に支出する経費です。
- 普通建設事業費**：公共または公用施設の新増設等に要する経費です。

普段の生活に見立てると...

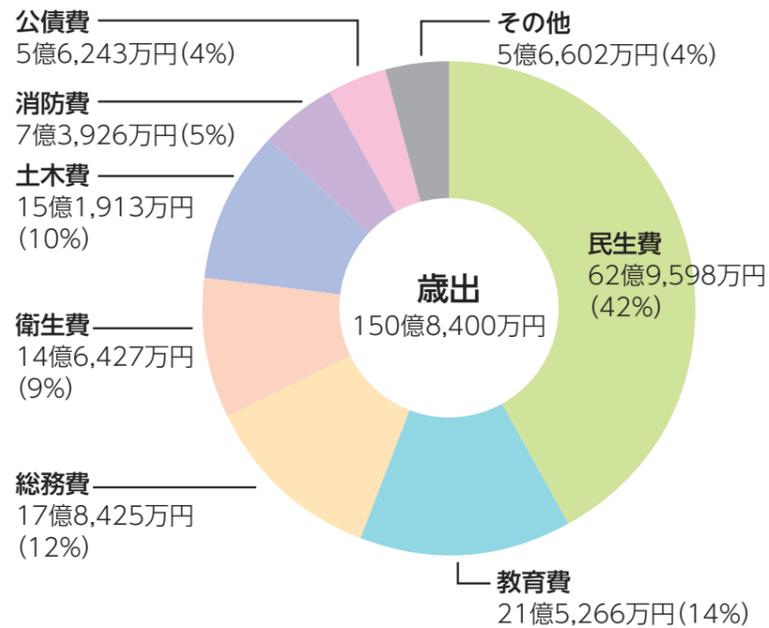
予算を一般家庭(年間収入・支出 621万6,000円*)に見立てると

年間収入	
給料収入(市税)	242万1,970円
パート収入(その他)	92万4,105円
銀行からの借金(市債)	45万7,876円
家族からの援助(地方交付税、国・県支出金)	219万6,139円
貯金取り崩し(繰入金)	21万5,910円
収入計	621万6,000円

年間支出	
生活費(人件費、物件費、予備費等)	354万7,270円
自宅の増築(修繕)費(普通建設事業費、維持補修費)	51万505円
子育て費(仕送り・学費等)(扶助費、補助費等)	191万7,125円
ローン返済(公債費)	23万1,775円
貯金(積立金)	9,325円
支出計	621万6,000円

*一般会計予算額を全国消費実態調査における宮城県の平均年間収入 621万6,000円に合わせたもの。

お金の使い道 実際は何に使われているか具体的に見てみましょう



- **民生費**
児童・高齢者福祉、医療費など福祉全般の経費です。
- **教育費**
小・中学校・幼稚園の管理、生涯学習やスポーツ事業などの経費です。
- **総務費**
市民バスや交通安全、防犯などの経費です。
- **衛生費**
健康や生活環境などの経費です。
- **土木費**
道路の管理や改良、市営住宅、公園管理などの経費です。
- **消防費**
地域の防災や消防団活動の経費です。
- **公債費**
借りたお金やその利子を返還する経費です。
- **その他**
議会費などの経費です。

予算を市民1人当たりになると…

民生費
子どもや高齢者、障がい者の福祉などに
119,937円
(118,895円)

教育費
小・中学校、幼稚園など教育のために
41,008円
(43,203円)

総務費
市民バスの運行や交通安全、防犯のために
33,990円
(33,578円)

衛生費
ごみ処理や病気の予防などに
27,894円
(24,670円)

287,347円
(274,799円)
※令和4年1月1日現在の住民基本台帳人口52,494人で換算しています。
※ () 内は昨年度の金額です。

土木費
道路や公園などの整備に
28,939円
(21,005円)

消防費
地域の防災や消防団の活動のために
14,083円
(13,307円)

公債費
借金返済に
10,714円
(9,420円)

その他
産業や議会関連経費などに
10,782円
(10,721円)

その他各種会計の予算

そもそも、特別会計って何？

特別会計とは、特定の歳入を充てて特定の目的を行うもので、一般の歳入歳出と区分して会計処理を行う会計のことをいいます。各会計とも、厳しい財政事情のもと、健全な運営に努めていきます。

下水道事業会計や水道事業会計って何？

下水道事業会計や水道事業会計は、一般会計と異なり企業会計の方式によって経営しています。

◎ 特別会計の予算

会計	当初予算額	主な内容
市営墓地特別会計	1億7,401万円	墓地整備費など
国民健康保険特別会計	39億6,471万円	国保医療費、特定健康診査など
介護保険特別会計	30億3,963万円	介護サービス給付費など
後期高齢者医療特別会計	4億4,628万円	後期高齢者医療広域連合への負担金など

◎ 下水道事業会計

会計	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	11億5,735万円
	支出	11億2,544万円
資本的収支	収入	1億2,253万円
	支出	1億6,102万円

収入は下水道使用料などで、支出は流域下水道管理運営負担金や固定資産の減価償却費など
収入は企業債の借入予定額や開発事業等に伴う寄付金などで、支出は流域下水道建設負担金や企業債の元金償還金など

◎ 水道事業会計

会計	当初予算額	主な内容
収益的収支	収入	11億7,307万円
	支出	9億7,804万円
資本的収支	収入	1億5,011万円
	支出	3億2,407万円

収入のほとんどは水道料金で、支出は広域水道用事業所からの受水費や固定資産の減価償却費など
収入は企業債の借入予定額などで、支出は配水管耐震化工事等の経費や企業債の元金償還金など

昨年度との比較 昨年度の予算と比較すると…

区分	令和4年度予算額	令和3年度との比較	
		予算額	増減額
一般会計	150億8,400万円	144億 800万円	6億7,600万円
特別会計	76億2,463万円	72億9,099万円	3億3,364万円
市営墓地特別会計	1億7,401万円	4,420万円	1億2,981万円
国民健康保険特別会計	39億6,471万円	39億4,260万円	2,211万円
介護保険特別会計	30億3,963万円	29億 767万円	1億3,196万円
後期高齢者医療特別会計	4億4,628万円	3億9,652万円	4,976万円
総計	227億 863万円	216億9,899万円	10億 964万円

令和4年度一般会計当初予算は、限られた財源を有効活用するため、令和3年度2月補正予算との連動（当初予算事業の前倒し計上）を特に意識した編成を講じ、昨年度から約5%の増額となりました。

区分	令和4年度予算額	令和3年度との比較	
		予算額	増減額
民生費	62億9,598万円	62億3,376万円	6,221万円
教育費	21億5,266万円	22億6,518万円	△1億1,252万円
総務費	17億8,425万円	17億6,052万円	2,374万円
衛生費	14億6,427万円	12億9,346万円	1億7,081万円
土木費	15億1,913万円	11億 131万円	4億1,782万円
消防費	7億3,926万円	6億9,768万円	4,158万円
公債費	5億6,243万円	4億9,392万円	6,852万円
その他	5億6,602万円	5億6,217万円	385万円

令和4年度に実施する主な事業

富谷市総合計画の4つの基本方針ごとに事業を紹介します

1. 暮らしを自慢できるまち！

(1) 富谷で働くことにやりがいを実感できるまちを創ります

富谷市まちづくり産業交流プラザ運営・維持管理事業 (産業観光課)2,997万円

起業塾「富谷塾」では、各フェーズに応じた多様なメニューを提供し、専任コンシェルジュによる伴走型支援のもと、さまざまなビジネスや活動を創出します。また、地域課題の解決に導く実証事業「おためしイノベーション富谷」を実施し、市民サービスの向上を図るとともにサテライトオフィス誘致を進めます。



企業誘致事業 (産業観光課)383万円

企業立地促進奨励金・雇用促進奨励金・用地取得奨励金制度などの活用や宮城県等との連携により、企業誘致に努め、市の産業振興を図ります。

また、ビジネス交流会の開催やメルマガ配信により、企業間ネットワークを構築します。

中小企業制度融資事業 (産業観光課)5,058万円

中小企業者等の経営の安定化と発展を図るため、中小企業振興資金の融資あっせん制度により、融資に係る保証料の補給や支払利息への利子補給を行います。

店舗取得・改修促進事業 (産業観光課)344万円

地域商業の振興と新たな雇用の創出、商店の活性化を図るため、市内の空き店舗等を利用し、小売業やサービス業等の店舗または施設として活用する新規創業者に対し支援します。

労働雇用対策事業 (産業観光課)1,445万円

シルバー人材センターと連携し、高齢者の就業機会の拡充と雇用機会の拡大を図ります。

(2) “とみやシティブランド”で自慢したくなるまちを創ります

とみやはちみつプロジェクト事業 (農林振興課)85万円

市役所庁舎屋上での養蜂・採蜜を継続するとともに、養蜂家育成の支援とみつ源拡大を行います。

富谷宿観光交流ステーション運営事業 (産業観光課)

※拡充860万円

本市の偉人内ヶ崎作三郎氏の功績を広く市内外にそして後世に伝える記念館を運営するとともに、歴史的な資源や背景を生かした観光交流の拠点や富谷市まちづくり産業交流プラザと連携した起業・創業の実践・チャレンジの拠点として活用を図ります。管理運営は新たに指定管理者制度により実施します。



スイーツフェア事業 (産業観光課)162万円

「スイーツのまち=とみや」として、春と秋にスイーツフェアを開催し、とみやスイーツ・富谷の魅力をPRするとともに、スイーツによるシティブランドの確立を目指します。

新商品開発事業補助金・観光物産振興対策事業 (産業観光課) ※拡充1,000万円

地域商社が主体となり地域資源発掘と磨き上げによる新商品開発と販路拡大に向けた基盤を構築します。

特産品定着推進事業 (農林振興課)474万円

新特産果樹定着事業として、シャインマスカット・イチジク・ぼろたん栗・ラズベリーを推奨し、苗木等購入助成により生産拡大を目指します。



また、富谷茶復活を目指して、富谷茶の在来種から育苗した茶木を栽培する生産者のほ場整備や栽培技術等への支援を行います。

農作物有害鳥獣等駆除事業 (農林振興課)710万円

有害鳥獣による農作物の被害防除を図るため、捕獲隊員による巡回、わなの設置、捕獲等を行います。特にイノシシによる農作物被害防除対策として、電気柵購入助成や地域への進入等を防ぐワイヤーメッシュ柵設置を支援するとともに、ICTを活用した新たな捕獲技術を導入します。



(3) 安全で自由に移動できる便利なまちを創ります
新公共交通システム推進事業 (企画政策課) ※拡充

.....607万円

「都市地域総合交通戦略 (基本計画)」に基づき、仙台市泉中央駅との基幹公共交通の整備を目的とした「新たな都市交通システムの事業化検討調査業務」に取り組み、地下鉄整備の事業化に向けて検討を図ります。

市民バス運営事業 (企画政策課)5,778万円

市民バス運行の再編を図りながら、市内における交通不便地域の解消と、公共施設などへの移動手段の確保のため、市民バスを運行します。

デマンド型交通運行事業 (企画政策課)1,181万円

市民バスの代替路線となる新たな交通網の形成を目指し、市内の東部区域・北部区域の交通空白地域を対象としたデマンド型交通の運行を行います。



2. 教育と子育て環境を誇るまち！

(1) 創造性豊かな教育環境のまちを創ります

不登校特例校西成田教室維持管理・運営事業 (教育総務課・学校教育課) ※新規732万円

不登校特例校「富谷中学校西成田教室」の設置に伴い、当該施設の維持管理・運営を行います。



教育支援センター運営事業 (学校教育課)2,081万円

児童生徒の実情に応じた心サポート機能や学びサポート機能、適応サポート機能等の充実を図り、学校復帰や社会的自立を目指すとともに、不登校特例校「富谷中学校西成田教室」との連携により、不登校児童生徒の減少を目指します。

※みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業補助金 (720万円) を活用。

スクールソーシャルワーカー事業 (学校教育課)214万円

児童生徒が抱えるさまざまな問題や課題の解決に向け、保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供を行います。

※スクールソーシャルワーカー事業委託金 (195万円) を活用。

市道幹線道路舗装修繕事業 (都市整備課) ※新規

.....1億9,820万円

老朽化した市道七北田西成田線の道路舗装を修繕し、良好で安全な幹線道路の環境を整備します。

※防災・安全社会資本整備総合交付金 (9,000万円)、公共事業等債 (8,100万円) を活用。

側溝整備事業 (都市整備課)1億6,500万円

快適で安全な生活道路を確保するため、富ヶ丘・鷹乃杜・とちの木地区の側溝を改修します。

※緊急自然災害防止対策事業債 (1億6,500万円) を活用。

都市計画事業 (都市計画課) ※新規1,744万円

都市計画法に基づき、都市計画の整備方針を定める都市計画マスタープランを策定するとともに、居住機能や利便施設の都市機能を誘導する立地適正化計画を策定します。

※集約都市形成支援事業費補助金 (580万円) を活用

一般公園維持管理事業 (都市計画課) ※拡充

.....1億2,698万円

市民のレクリエーション・コミュニケーションの場である公園の機能維持・安全確保・魅力向上を図ります。また、都市公園施設長寿命化計画の策定に取り組みます。

※防災・安全社会資本整備総合交付金 (1,750万円) を活用

子育てのための施設等利用給付事業 (教育総務課)

.....2億852万円

幼児教育・保育の無償化に伴う保育料、預かり保育利用料、副食費について、給付事業を行います。

※子育てのための施設等利用給付交付金ほか (1億5,345万円) を活用。

外国語指導助手 (ALT) 活用事業 (学校教育課)

.....2,511万円

ALTを小・中学校に派遣し、英語によるコミュニケーション能力を高めるとともに、異文化理解、国際感覚の養成を推進します。

市立小学校・中学校図書推進事業 (学校教育課)

.....4,663万円

小学校8校、中学校5校の学校図書教育の推進、蔵書の充実、学校図書館指導員の更なる効果的な活用を図ります。



市立小学校・中学校コンピュータ教育事業

(学校教育課) 1億1,420万円

小学校、中学校のICT機器、ソフトウェア、コンテンツの充実を図ります。

学校給食センター運営・維持管理事業

(学校給食センター) 5億4,934万円

小学校9校(利府支援学校富谷校を含む)・中学校5校に学校給食を供給します。昨年度に引き続き、調理業務等を民間事業者へ委託します。

(2)あらゆる世代が生きがいを感じて暮らせるまちを創ります

総合運動公園運営・維持管理事業(生涯学習課)

..... 7,836万円

本市のスポーツ施設の中核として、誰もが楽しく安全にスポーツ・レクリエーション活動を行えるように、適切な維持管理を図ります。



図書館等複合施設整備事業(生涯学習課)

..... 2,925万円(繰越明許費)

富谷市民図書館・スイーツステーション・児童屋内遊戯施設を複合化した図書館等複合施設整備に向け、基本設計業務を進めます。

(仮称)やすらぎパークとみや整備事業

(生涯学習課-パークゴルフ場分) 1億1,637万円

(都市整備課-河川整備分) 2,565万円

令和6年度の施設オープンに向け、管理棟実施設計業務、整備工事等を実施します。

※ユーマイトウン施設整備基金繰入金(1億4,053万円)を活用。

七ツ森ハーフマラソン大会運営事業(生涯学習課)

※新規 1,000万円

市民参加型のスポーツ祭典として、大和町との共催によりマラソン大会を開催します。



公民館維持管理事業(公民館)

..... 9,178万円

地域における学習・交流の拠点である公民館の利用が、安全に快適で円滑に行われるように、施設の維持管理・整備を図ります。

(3)伝統と文化を誇れるまちを作ります

街道まつり運営事業(産業観光課) 573万円

富谷宿開宿400年をオール富谷・市民みんなで盛り上げるため、「富谷宿の過去・現在を未来へ、ふるさと意識の醸成と魅力あるしんまち地区を次世代へ」を基本理念に開催します。



民俗ギャラリー運営・維持管理事業(生涯学習課)

..... 426万円

民俗、考古、歴史資料等の収集、保存、調査を行い、適切な展示や企画展を通じ、郷土を学ぶ場を提供します。

(4)地域で子育てを支えるまちを創ります

子育て支援事業(子育て支援課) ※拡充 2,026万円

子育て支援センターとみこを拠点として、子育て講座、離乳食教室、育児相談等のほか、イベント等で親子の交流を行います。

新規事業として新生児聴覚検査助成事業を行います。 ※子ども・子育て支援交付金ほか(821万円)を活用



子ども家庭総合支援拠点事業(子育て支援課) ※拡充

..... 1,455万円

ソーシャルワークの基本を担い、全ての子どもやその家庭、妊産婦等を対象に福祉に関する相談・情報提供・助言等を行います。

認可保育所運営事業(子育て支援課) 11億5,913万円

認可保育所や認定子ども園、小規模保育園に対して運営経費を助成します。

※子どものための教育・保育給付費負担金ほか(7億3,059万円)を活用。

保育所運営・維持管理事業(子育て支援課)

..... 1億8,772万円

市立保育所の運営・維持管理を行います。

妊産婦支援事業(子育て支援課) 5,248万円

母子手帳交付時からの継続した相談・支援により、産後うつや虐待の予防を目指し、母子が心身共に健康に過ごせる環境を整備します。

併せて、妊婦・産婦健診費用の助成やプレママ・パパ学級等の開催のほか、宿泊型を追加した産後ケア事業を実施します。

※母子保健衛生費補助金(214万円)を活用。

地域子育て支援事業(子育て支援課) 1,096万円

子育て講座、あかちゃんひろば、あそびのひろば等、親子が参加し交流できる場の提供や、一時預かりなど子育て中の親子をサポートします。

※子ども・子育て支援交付金(343万円)を活用

感染症予防事業(子育て支援課) 1億3,498万円

ロタウイルス、麻しん風しん、四種混合、日本脳炎、BCG、Hib、小児肺炎球菌等各種予防接種に対して助成します。



3. 元気と温かい心で支えるまち!

(1)あらゆる世代が元気に暮らす健康自慢のまちを創ります

高齢者補聴器購入費助成・高齢者在宅生活支援事業

※新規(長寿福祉課) 240万円

聴力機能低下により日常生活を営むことに支障が生じる高齢者に対し、地域交流や社会とのつながりを保ち、認知症やフレイルの進行を緩やかにさせる一助とするため、補聴器購入にかかる費用の一部を助成します。

地域と施設の支え合いモデル事業「とみサポ ころね」

(長寿福祉課) 221万円

市内高齢者施設において生涯安心して自分らしく生活できる環境づくりを目指し、令和5年度までのモデル事業として、施設コーディネーター・サポーターによる寄り添いボランティア活動を支援します。

敬老祝い事業(長寿福祉課) 2,253万円

各町内会の敬老祝い事業に対して、助成を行うとともに各節目の年齢を迎える方へ、祝金を支給します。

一般介護予防事業(長寿福祉課) 124万円

高齢者の閉じこもり予防や交流を目的として身近な会館等で開催する集いの場である「ゆとりすとクラブ・サロン事業」や生きがいづくりを目的に花や野菜の栽培・管理を行う「元気・元気高齢者応援事業(とみやの杜園芸クラブ)」等を通じ、地域の高齢者の心身の健康づくりを支援します。



特定不妊治療事業(子育て支援課) 375万円

不妊治療を受けているご夫婦に対し、経済的・精神的負担の軽減を図るため、令和4年度より保険適用になることから経過措置となる特定不妊治療の一部助成を実施します。

※少子化対策支援市町村交付金(53万円)を活用。

子ども医療費助成事業(子育て支援課) 2億8,000万円

0歳から18歳年度末までの子どもにかかる医療費のうち、保険診療による自己負担額を助成します。

※乳幼児医療費助成事業補助金(2,503万円)を活用。

病児・病後児保育室運営事業(子育て支援課)

..... 3,162万円

病気・病気回復期の小学6年生までの児童が、保護者の就労等により、集団保育が困難な場合において、院内施設で一時保育を実施します。

※子ども・子育て支援交付金(1,430万円)を活用。

乳幼児健診事業(子育て支援課) 1,446万円

母子保健法に基づき、乳幼児の発育・発達の確認や疾病の早期発見と健康の保持増進を図るため、各種乳幼児健診および保健指導を行います。

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業

(健康推進課) 1億1,171万円

黒川町村と連携・協力し、富谷・黒川管内で広く新型コロナウイルスワクチン接種が可能となる体制を整備し、被接種者の選択肢の拡大や効率的で速やかな接種を図ります。

※新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費補助金(1億1,171万円)を活用

新型コロナウイルスワクチン接種対策事業

(健康推進課) 1億64万円

新型コロナウイルスワクチン接種の機会を時間外や休日、集団接種と幅広く確保し、ワクチン接種の加速化を図ります。

※新型コロナウイルスワクチン接種対策費負担金(1億64万円)を活用。



感染症予防事業(健康推進課) 4,686万円

風しんの追加的対策、高齢者肺炎球菌ワクチンや高齢者インフルエンザワクチン予防接種の助成を行います。 ※感染症予防事業費等補助金(279万円)を活用。

地域包括支援センター運営事業（長寿福祉課）

..... 7,823万円

市内3か所の生活圏域に設置・委託した地域包括支援センターの運用、指導・調整を通して、圏域毎の特性・地域力を生かしながら、高齢者支援のさらなる充実を図ります。

通所型サービス事業（長寿福祉課）..... 4,934万円

※介護予防・日常生活支援サービス事業

要支援1・2や支援を必要とする高齢者（事業対象者）が可能な限り居宅で自立した日常生活を営むことができるよう、市が育成した運動サポーターが運営協力する筋トレ型通所サービスなど、通所による運動プログラム等を通して要介護状態への移行防止に努めます。

訪問型サービス事業（長寿福祉課）..... 1,074万円

※介護予防・日常生活支援サービス事業

要支援1・2や支援を必要とする高齢者（事業対象者）に対して、可能な限り居宅で自立した日常生活を営むことができるよう、市が育成した生活支援員が訪問による家事等の支援を提供する、生活支援型訪問サービスなど、家事等支援を行うことにより要介護状態への移行防止に努めます。

住民検診事業（健康推進課）..... 1億7,815万円

乳がん、大腸がん、胃がん検診等がん検診や成人歯周疾患検診、脳健診などの住民検診を実施します。

※健康推進事業等補助金ほか（208万円）を活用。

健康づくり、食育推進事業（健康推進課）..... 167万円

市民の健康維持・増進を図るため、周知啓発や健康講座等を行います。

また、食を通して豊かな心とからだを育むため、食育推進事業を実施します。

※健康推進事業等補助金ほか（39万円）を活用。



(2) 高齢者も障がい者も安心して暮らせるまちを創ります

地域生活支援事業（地域福祉課）※拡充..... 4,254万円

「地域生活支援拠点等整備事業」は、障がい者等の重度化や高齢化、親亡き後に備え、地域における生活の安心感の担保を図るとともに、障がい者等やその家族の緊急時に迅速・確実な相談支援や短期入所等の受入先を確保し、今後も地域における居住支援に求められる機能について検討を重ねていきます。

障がい者等相談支援体制は相談員を増員し、更なる強化を図ります。

※地域生活支援事業補助金ほか（2,133万円）を活用。

障害者自立支援給付事業（地域福祉課）

..... 4億8,794万円

障がい者の自立と社会参加の支援等のため、障害者総合支援法の法定サービスに対する扶助費等を支給します。※障害者自立支援給付費負担金（3億6,541万円）活用。

高齢者・障がい者交通対策事業

（長寿福祉課・地域福祉課）..... 3,658万円

60歳以上70歳未満の運転免許返納者や70歳以上の高齢者、18歳以上の障がい者を対象として、外出支援乗車証「とみぱす」を交付します。

また、重度障がい者等福祉タクシー利用券助成事業により、日常生活の利便性向上と社会参加への促進を図ります。



(3) 身近なコミュニティがみんなの支えになるまちを創ります

生活困窮者自立支援促進事業（地域福祉課）

..... 3,635万円

自立相談支援等、就労準備支援、家計改善支援、アウトリーチ支援等、生活困窮者が自立できるよう包括的な支援を行います。



※生活困窮者自立相談支援事業費等負担金ほか（2,664万円）活用。

生活保護扶助事業（地域福祉課）..... 1億5,993万円

健康で文化的な最低限度の生活を保障し、自立を助長するため、生活保護費を支給します。

※生活保護費負担金（1億1,995万円）を活用。

重層的支援体制整備事業移行準備事業（長寿福祉課）

※新規..... 2,250万円

社会福祉法の改正により創設された「属性を問わない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」の3つの支援を一体的に実施する重層的支援体制整備事業を開始するため、移行準備として「庁内連携体系構築事業」等の実施により必要な支援体制の構築を行います。

※重層的支援体制整備事業移行準備事業費補助金（938万円）を活用。

4. 市民の思いを協働でつくるまち！

(1) 日常生活が安全で包まれたまちを創ります

災害対策総務事務（防災安全課）..... 313万円

災害時の情報発信に有効となる安全・安心メールを運用します。

防災啓発事業（防災安全課）..... 66万円

市民に対する正しい防災知識の普及と意識の高揚を図るため、わがまちマップの運用やAEDの貸出を行います。

防犯設備整備事業（防災安全課）..... 275万円

安心安全のまちづくりを進めるため、昨年度に引き続き、市内各中学校区に1台ずつ、計5台の防犯カメラを設置します。

※市町村振興総合補助金（100万円）を活用。

道路交通安全施設整備事業（都市整備課）..... 1億37万円

道路の交通安全を確保するため、道路区画線や路面標示等の整備のほか、道路照明灯のLED化や防護柵、カーブミラーなどの交通安全施設の整備と維持管理を行います。

※道路局所管補助金（1,711万円）を活用。



犯罪被害者支援金の給付・防犯対策総務費

（防災安全課）※新規..... 50万円

犯罪被害者等が受けた被害の早期軽減や回復を図るため、富谷市犯罪被害者等支援条例に基づき支援します。

(2) 持続可能な都市環境がブランドになるまちを創ります

ゼロカーボンシティ推進事業

（企画政策課-2050ゼロカーボン戦略実現方策調査業務）

..... 3,498万円

（子育て支援課・保健福祉総合支援センター

小型電気自動車導入分）..... 75万円

令和3年度に策定した「ゼロカーボン戦略」に基づき、ゼロカーボンシティの実現に向けて、再生可能エネルギーの導入に係る追加調査や市民・地域企業等への普及啓発を実施するとともに、取組の一環として小型電気自動車の導入を行います。

また、サイエンス教育と環境啓発事業を引き続き実施します。

※二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金ほか（3,498万円）を活用



地域水素サプライチェーン継続実証事業（企画政策課）

※拡充..... 1,262万円

環境省委託事業（低炭素水素サプライチェーン）が令和3年度をもって終了することに伴い、本市が実施主体として事業を実施します。

※脱炭素な地域水素サプライチェーン構築事業費補助金（800万円）を活用。

一般廃棄物収集運搬処理事業（生活環境課）

..... 2億6,323万円

生活系一般廃棄物の収集運搬等を委託します。

(3) 健全なまちづくりに向けてみんなが協働するまちを創ります

広報・広聴事業（市長公室）..... 1,556万円

毎月発行する広報紙やホームページ、LINE、フェイスブック、Instagram等によって、市政に関する情報を市内外へ発信します。

町内会館整備事業（市民協働課）..... 77万円

ひより台一丁目会館改修工事検討のため、地質調査業務委託を行います。

市民協働推進事業（市民協働課）..... 55万円

とみやわくわくミーティングや市民協働セミナーを開催し、市民協働の推進を図ります。



職員研修事業（総務課）..... 413万円

富谷市人事育成基本方針に基づき、OJTを人材育成の核とした、各種取組を実施します。



移住支援事業

（企画政策課・産業観光課・農林振興課）..... 4,482万円

東京圏から地方へ就業を伴い移住した方へ移住支援金を支給します。併せて地域おこし協力隊を採用し、人口減少対策と地域課題の解決を図ります。

※移住支援事業負担金（245万円）を活用。